

大地震発生時、私たちは**どのように避難し、どのように共助活動**を行えばよいのでしょうか。

置かれた状況に応じて最適な行動は種々異なりますが、今回、標準的な行動を考えてみました。  
以下の日程で、短い記事を連載いたします。

- 2024年10月16日 : あなたはどのように避難しますか  
11月01日 : いੱつき避難場所とは何ですか  
11月16日 : 地域活動拠点とは何ですか 組織的共助活動とは何ですか  
12月01日 : 要支援者と共に  
12月16日 : 防災マップ  
2025年01月01日 : 休刊  
01月16日 : 共助活動ガイドライン

(発行日は、多少前後する場合があります)

大地震発生時にとるべき行動について ともに考え 訓練し 備えましょう!

## あなたは どのように避難しますか

2024年10月16日発行

次頁のグラフは、大地震発生直後の標準的な避難行動を、フローチャートで表現したものです。

緑色線は、津波警報が発出されている場合の避難行動を表しています。

避難の基本的な考え方は、「てんでんこ」です。

自分の身を守り、二次災害の発生を予防したら、個々人で一目散に「津波一時避難所」へ逃げる。原則、消火活動も、救助活動も行わずに逃げることを最優先とする。

(救助活動を行わずに逃げるのは大変つらいことですが、自分を守ることが最優先です)

赤色線は、津波警報が出ていなくて、火災クラスターが発生した場合の避難行動を表しています。自分の身を守り、二次災害の発生を予防したら、「いੱつき避難場所」に集まり、みんなで「広域避難場所」へ避難します。

黄色枠は、「いੱつき避難場所」における活動を表しています。

赤色点線は、「いੱつき避難場所」が設置されなかった場合。または「いੱつき避難場所」を利用せず、個人的に避難する場合を表します。

紺色線は、組織的共助活動を表します。

紺色点線は、個人的な共助活動を表します。

# 大地震発生直後の避難と共助活動

